

春風だより

はる

かぜ

- 2ページ 副院長兼看護部長挨拶
- 3ページ 障害者雇用支援・激励大会及び敬老会について
- 4～5ページ 健康寿命を延ばそう
あなたの「寝たきり危険度」をチェック!
- 6ページ 職員接遇セミナー及び職員研修会について
- 7ページ 新病棟建設計画について

2014年
冬号
No.5



はじめまして。

新年おめでとうございます。

10月1日付で「副院長兼看護部長」として着任しました勝^{かつ}順^{よりこ}子です。



看護学校を卒業して以来40年近く臨床看護と管理の仕事をしてきました。はじめに就職した病院は産科病棟で、第二次ベビーブームの中で沢山の出産の介助に立ち会い、同時に奇形児などの障害児出生の事例にも数多く出合いました。それ以来、平均的でない、標準から逸脱するものへの免疫がしっかり身についたように思います。

さて、私の幼い頃、蒸気機関車や石炭車が日本の風景の中を走っていました。窓を開けると顔が煤で黒くなり、デッキでは列車の風を全身で感じる事ができました。昭和39年、東京から大阪へ引っ越しの時、まだ走り始めたばかりの新幹線に乗ったことですが、車体は丸く、窓は開かず、あまりの速さとマヨネーズの利いたサンドイッチに気分を悪くした記憶があります。新幹線はなぜ速い？ 汽車は蒸気機関車が列車を牽引して走っています。しかし、新幹線は編成各車両に動力を載せる動力分散方式を取っているからであることを知って、妙に納得をしました。さまざまな価値観はあると思いますが、世界化と情報化時代のスピードアップに即した技術の進化といえます。さて、田上記念病院はどうでしょう？ 医療の課題には4つの視点があると思います。

1つめは**医療の質の確保**。職員一人ひとりが力をつけることは、病院の医療の質（力）に繋がるといえます。2つめは**適正な労務管理**であります。中でも労働基準法あるいは労働契約に基づいた適正な労務管理は、職業人として個人のモラルと職場風土を育てるものだと考えています。限られた時間と資源の中で職員一人一人が努力したいものです。3つめは**人材の育成**であります。キャリア開発では組織と職員個人が相乗して自己実現という目標を達成するという仮説を立てることができます。然しながら、人材はすぐに育つわけではありません。まし

て、優れた人材育成と能力開発は組織の理解と支援がなくてはなりません。組織で育っていく個人の自覚と責任がなければ牽引される石炭車になってしまいます。結果は職員個々の仕事に反映されるものですから、人が育つというのは病院にとってきわめて重要なテーマであるわけです。

看護師の場合は、経年別に成長する課題とニーズが変わってきます。新人においても即戦力となる「臨床実践能力」が求められ、基本的な技術、知識、態度をバランスよく習得することから始まります。特に大学教育では技術的な演習経験がないまま卒業するため、平成22年度からは国をあげてバックアップする「新人看護職員研修」制度が始まりました。当院においても新人に対し1年間は計画的にカリキュラムを実施し、新採用ローテーションのシステムを取り入れていかなければなりません。さらに、より専門的な領域の向上心、探究心を啓発し、「認定看護師」「専門看護師」あるいは教育や管理のキャリアアップを組織的に図っていきたいと思います。

今年は「日本式NP」の育成、「特定看護師」導入の実地研修が始まり、超高齢化、多死社会の構造変化のなかで、到来する「医療と介護の連携」の仕組みづくり、急性期医療に求められる課題と地域連携の有機的活動、あるいは「人材育成」が急ピッチで進められています。臨床の質を向上させることと人材を育成することが関連していることを認識して、田上記念病院の「キャリア開発」の仕事に取り組みたいと思います。4つめは**職場風土**であります。横の人間関係の良いところは大きな強みだと思います。軸は横糸と縦糸がバランスよく組み合わせさせてこそ、さらに強くなるのでありますから、縦の風通しも良くしていきたいと思います。私たち一人ひとりが組織の土を耕し、種を蒔き、時を得て、花咲かせ、実りを収穫する満足を知って実践できる組織風土を創り上げていきたいですね。

当院の地域における期待は、今後一層拡大されてまいります。地域医療をしっかりと担い、田上記念病院が職員とともに一段と良い病院になるよう尽力したいと思います。

どうぞ、皆様からのご指導、ご意見をお聞かせください。

『平成25年度鹿児島県障害者雇用支援・激励大会』において、 医療法人春風会が表彰されました

平成 25 年 9 月 30 日 (月) に鹿児島市民文化ホールで、
『平成 25 年度鹿児島県障害者雇用支援・激励大会』が開催されました。
鹿児島県では障害者雇用について
功績のあった事業所の表彰を実施しており、
『障害者雇用優良事業所』として
医療法人春風会が表彰されました。



平成25年度『敬老会』を開催しました

平成 25 年 9 月 16 日 (月) 「敬老の日」に
当院のレクリエーション委員が中心となり、敬老会を開催しました。



今年は鹿児島歌謡倶楽部の方々をお招きし、ギター演奏と歌謡曲の合唱から始まり、
当院職員が踊ったソーラン節ではアンコールをいただくほど盛り上がりました。
また、院内保育所の子供たちの可愛らしい姿には、患者様・ご家族様も見入っておられました。
短い時間ではありましたが、ご家族様とともに楽しいひと時をお過ごしになられたと思います。

医療法人春風会研修会『職員接遇セミナー』の開催について

医療法人春風会では、月2回『福岡かつよ先生による職員接遇セミナー』を開催しております。

第5回、第6回の接遇セミナーは言葉づかいを重点的に、相手への敬意や思いやりを表す敬語について学びました。

また、当院病棟において福岡かつよ先生に実践レクチャーをしていただきました。患者様に安心感を与えられる接遇を学ばせていただきました。

第5回 言葉づかいについて

平成25年9月9日(月) 19:00~20:30
平成25年9月10日(火) 19:00~20:30

会場 医療法人春風会 田上記念病院
リハビリテーション室

講演 1. 前回研修「身だしなみ」のフィードバック
2. 言葉づかいと話し方
3. 尊敬語と謙譲語の使い方 等



第6回 言葉づかいについて

平成25年10月15日(火) 19:00~20:30
平成25年10月16日(水) 19:00~20:30

会場 医療法人春風会 田上記念病院
リハビリテーション室

講演 1. 前回研修「言葉づかい」のフィードバック
2. 心配りを感じる言葉づかい
3. 心配りを示す言葉づかいのポイント



平成25年度 第2回『職員研修会』を開催しました

医療法人春風会 田上記念病院では、全体研修会を下記のとおり開催いたしました。
今後も研修会を随時行い、職員自身の自己研鑽に努めてまいります。

日時：平成25年9月24日(火) 会場：医療法人春風会 田上記念病院 リハビリテーション室

テーマ

1. 医療機器故障時の対応～平成24年度修理記録分析～
2. 当院での医薬品安全管理について
3. 1年間の取り組みと褥瘡の基礎ケアについて
4. 身体抑制廃止に向けて～身体抑制に対する考え方と当院の現状～
5. クリニカルインディケーターについて

講師

医療機器安全委員会	委員長 鳥原 放射線技師
医薬品安全管理委員会	委員長 福田 薬剤師
褥瘡対策委員会	委員長 岩川智子 看護師長
身体抑制廃止委員会	委員長 丸田正隆 看護師長
リハビリテーション部	梅本昭英 部長



新病棟建設計画について

医療法人春風会 田上記念病院では平成 26 年度着工に向け、病棟の建て替えを計画しています。
今回は、いくつかのキーワードで概要を紹介致します。

緑に囲まれたロケーション

鹿児島市西別府町の高台に位置する田上記念病院は、周りを緑に囲まれた県内でも有数の自然の中の病院です。各病室からも窓越しに自然の緑を望むことができ、こころのやすらぎをもたらしてくれます。今回の計画では、このメリットをさらに活かすために、建物と自然が一体となった病院づくりを目指します。



【外観イメージ】

緑に囲まれ
安らぎを感じさせる
シンボリックな外観

広大な敷地

現在の施設群は、東京ドーム3個分にも匹敵する広大な敷地の中に配置されています。この広大な土地だからこそ実現できる、ゆったりとした病院づくりを目指します。



Now

Future

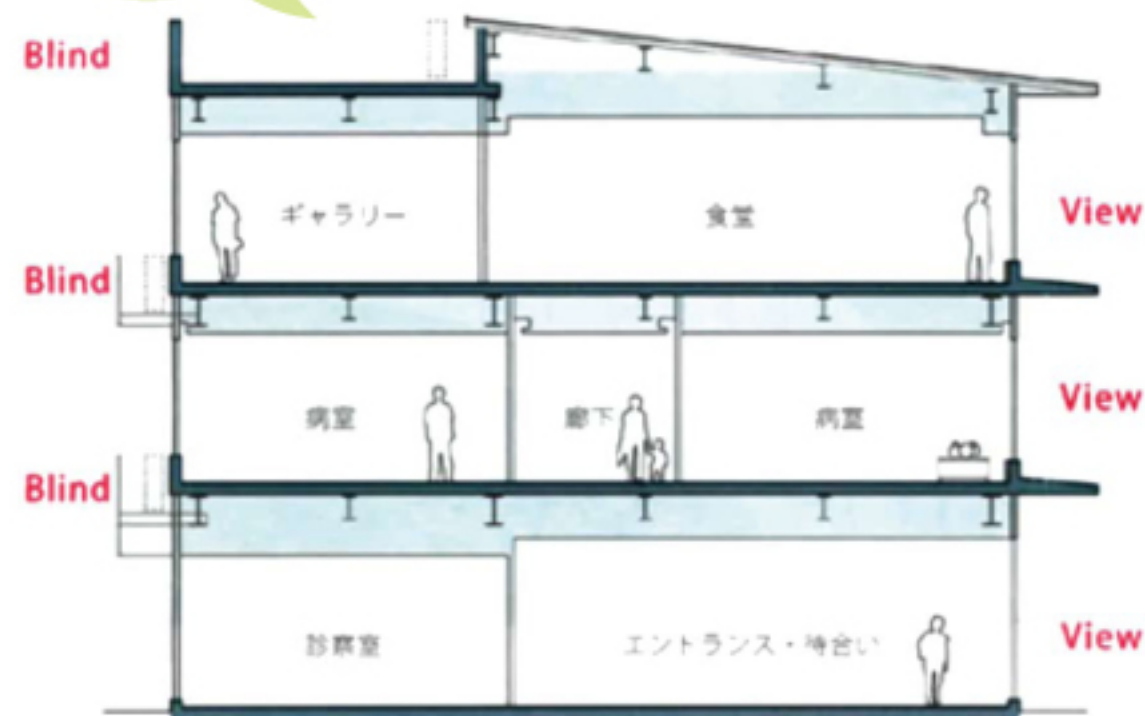
快適な療養環境

病院の大きな使命の一つに「快適で安心・安全な療養環境」の実現があります。ご利用者様をはじめご家族の方、地域の方々にも満足いただける施設環境を提供するために、安全性・快適性・機能性に配慮した病院づくりを目指します。

『安全性 快適性
機能性』を追求

地域のランドマーク

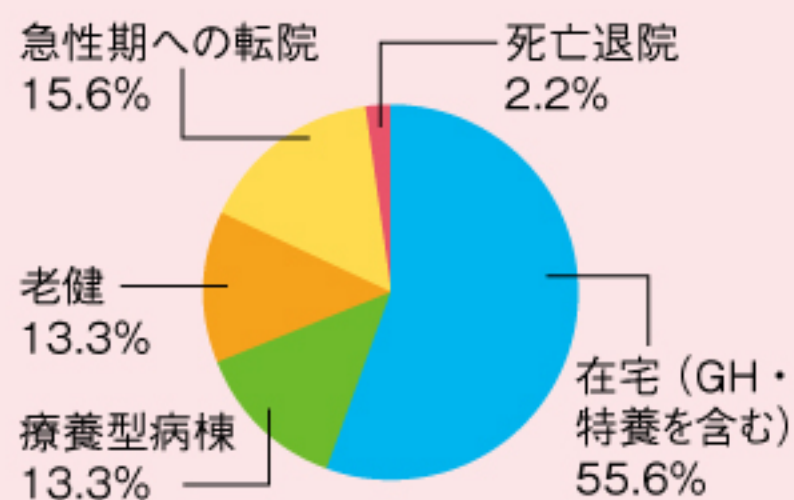
新武岡トンネルの開通により、鹿児島市中心部と当病院の位置する西別府町、さらには松元・伊集院とのアクセスがさらに便利になりました。地の利を活かして「田上記念病院」が地域のランドマークとして皆様から信頼される病院になることを目指します。



【病棟階層イメージ】

当院における回復期病棟診療統計データ (平成25年5月～平成25年10月)

退院先割合



※死亡・急性期への転院を除く在宅復帰率…67.6%

退院者数 (人)

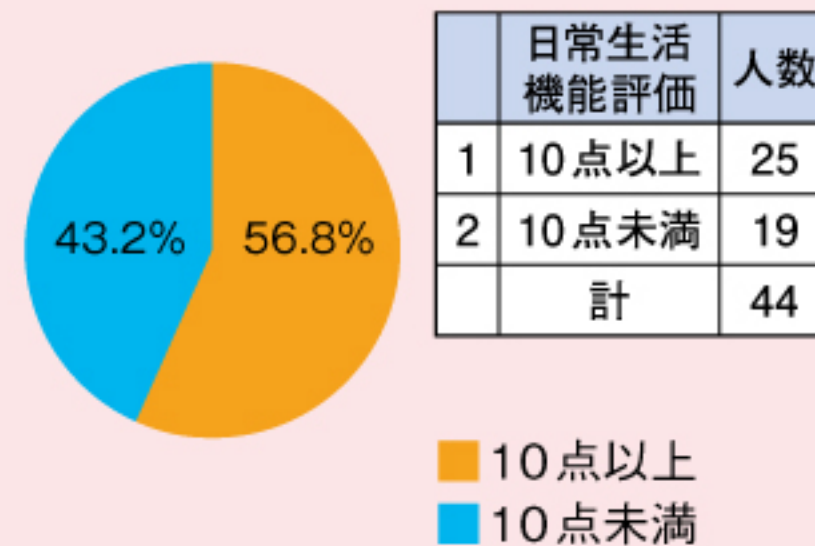
在宅 (GH・特養を含む)	25
療養型病棟	6
老健	6
急性期への転院	7
死亡退院	1
対象外疾患患者	22
計	67
退院者平均年齢 (歳)	80.0

病床稼働率 (%)

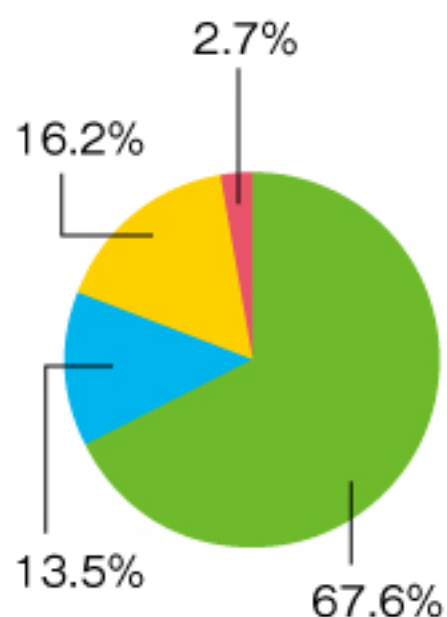
2013年 5月	85.2
2013年 6月	81.3
2013年 7月	83.0
2013年 8月	95.1
2013年 9月	91.3
2013年 10月	82.7
平均稼働率	86.4

入院時重症度判定割合

(平成25年5月～平成25年10月)



疾患別退院患者割合



脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、腕神経叢損傷等の発症または手術後、義肢装着訓練を要する状態 (高次脳機能障害を伴った重度の脳血管障害、重度の頸髄損傷、頭部外傷を含む多部位外傷の発症又は手術後)	25
大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節、2肢以上の多発骨折	5
外科手術又は肺炎等の治療時の安静による廃用症候群	6
大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷	1
計	37

疾患別退院患者数 (人)

脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、腕神経叢損傷等の発症または手術後、義肢装着訓練を要する状態 (高次脳機能障害を伴った重度の脳血管障害、重度の頸髄損傷、頭部外傷を含む多部位外傷の発症又は手術後)	25
大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節、2肢以上の多発骨折	5
外科手術又は肺炎等の治療時の安静による廃用症候群	6
大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷	1
計	37

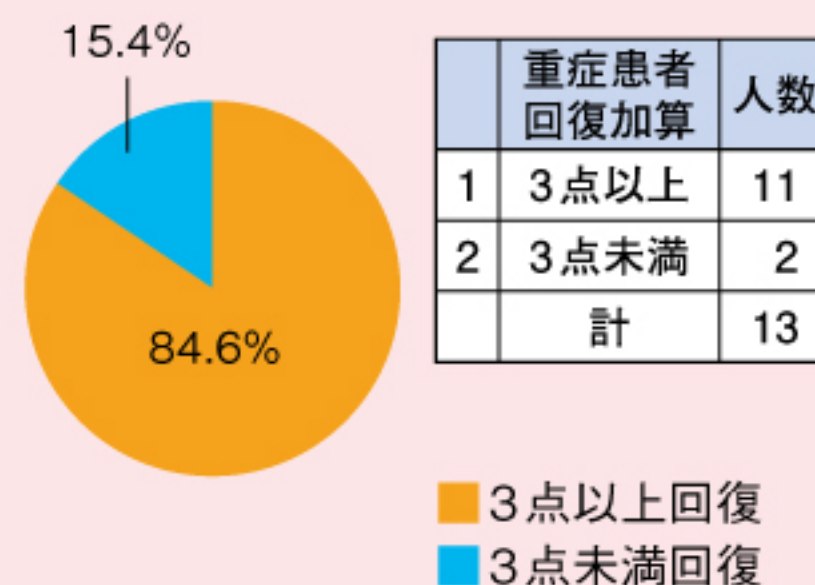
疾患別平均在院日数 (日)

脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、腕神経叢損傷等の発症または手術後、義肢装着訓練を要する状態 (高次脳機能障害を伴った重度の脳血管障害、重度の頸髄損傷、頭部外傷を含む多部位外傷の発症又は手術後)	113.6
大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節、2肢以上の多発骨折	87.8
外科手術又は肺炎等の治療時の安静による廃用症候群	67.0
大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷	20.0
全体	89.5

※急性期への転院・死亡退院患者は含まない

退院患者回復割合

(平成25年5月～平成25年10月)



医療法人春風会 田上記念病院

〒890-0033 鹿児島市西別府町1799番地
 TEL: 099-282-0051 FAX: 099-282-6600
 地域連携室 TEL: 0120-83-0051 院長: 中村浩一郎
 メールアドレス info@shunpukai.com

診療科目

内科・神経内科・呼吸器内科・循環器内科・リハビリテーション科・歯科

診療時間

午前 / 9:00 ~ 12:30
 午後 / 14:00 ~ 17:30

病床総数

210床
 内訳 / 回復期リハビリテーション病床 (30床)
 医療療養型病床 (120床) 介護療養型病床 (60床)



交通アクセス

- お車での来院
 鹿児島ICより松元方面へ約10分
 鹿児島中央駅より 約15分
- バスでの来院
 鹿児島中央駅からご利用の場合:
 南国交通バス/鹿児島中央駅東口22番乗り場
 【池田高校前】行き、【石谷】行き、【下入佐】行き、
 【飯牟礼郵便局】行き、池田高校前バス下車 徒歩約5分



介護老人保健施設 ナーシングホーム田上苑

〒890-0032
 鹿児島市西陵6丁目21-18
 TEL: 099-283-0120
 ○介護老人保健施設 (老人保健施設)
 ○短期入所療養介護 (ショートステイ)
 ○通所リハビリテーション (デイケア)



介護付有料老人ホーム クレセール天保山

〒890-0056
 鹿児島市下荒田2丁目39-1
 TEL: 099-806-0033



介護支援事業所 はるかぜ

〒890-0056 鹿児島市下荒田2丁目39-1
 TEL: 099-812-4305

グループホーム (認知症対応型共同生活介護/介護予防) はるかぜグループ

特別養護老人ホーム やすらぎの里 (社会福祉法人希望会)

〒899-5543 鹿児島県始良市下名2992
 TEL: 0995-65-1641

特別養護老人ホーム 松恵園 (社会福祉法人松恵会)

〒890-0033 鹿児島市西別府町1920
 TEL: 099-282-7520